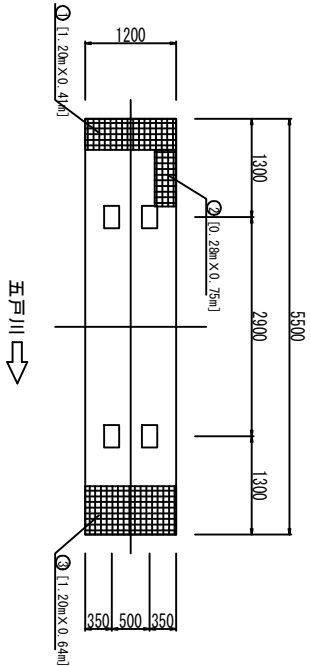


令和7年度	橋梁補修	工事
工事番号	第 31 号	
路線名	粒ヶ谷地六戸線	
河川	粒ヶ谷川	
施工箇所	三戸郡五戸町大字切谷内 地内	
下流工種別図 (3)	縮尺 各図記入	
図面番号	19 葉中 16	
五戸町		
青森県		

粒ヶ谷地橋

凡 例	対 策 工 法
<div></div>	断面修復工 (1)
<div></div>	断面修復工 (2)

P 1 橋脚平面図

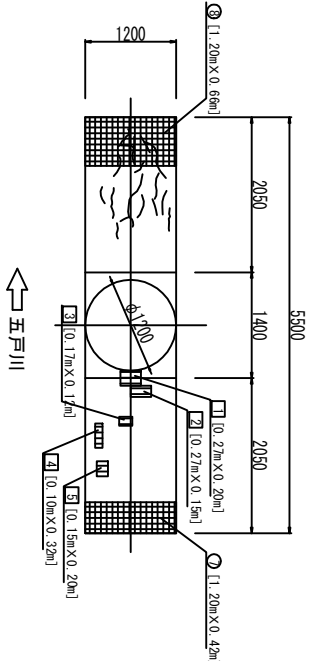


P 1 橋脚 S=1:50

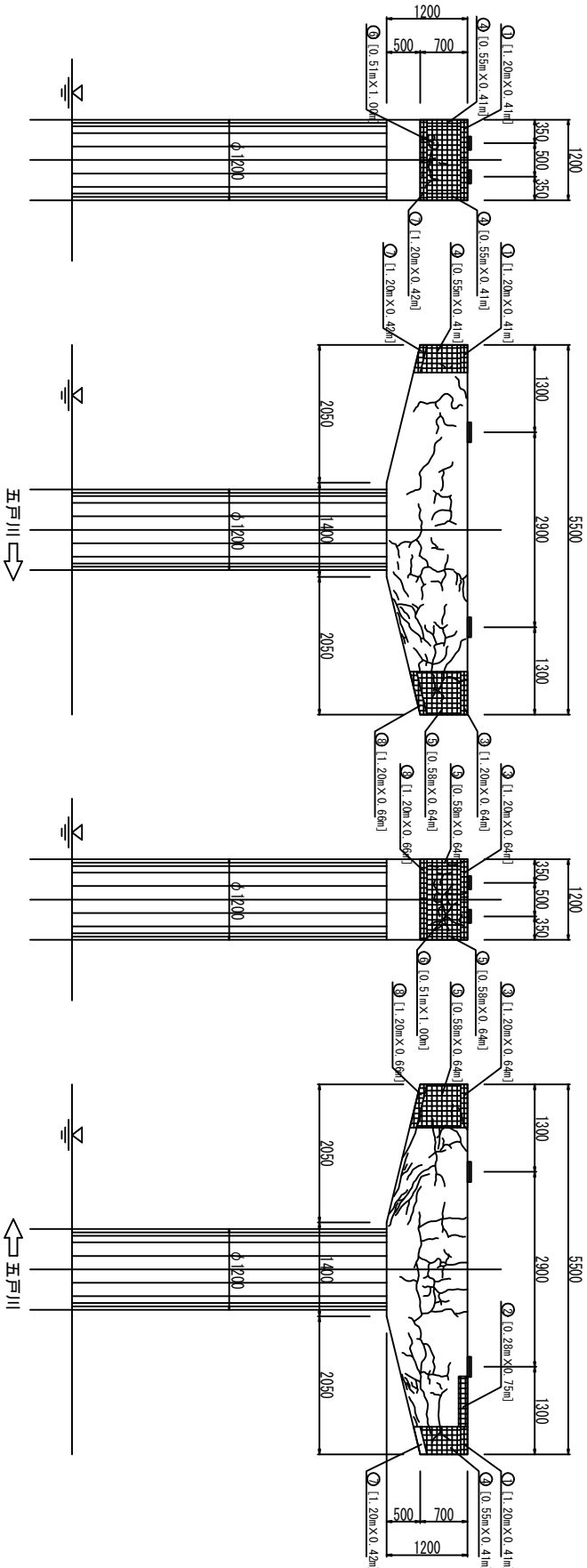
下部工補修図 (3)

【断面修復工】

P 1 橋脚底面図



上流側側面図

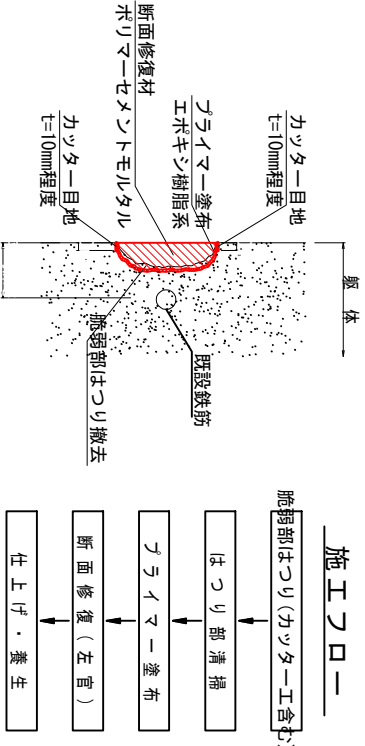


A 1 橋台側断面図

下流側側面図

A 2 橋台側断面図

断面修復工 (1)
(左 官 工 法)
NO SCALE



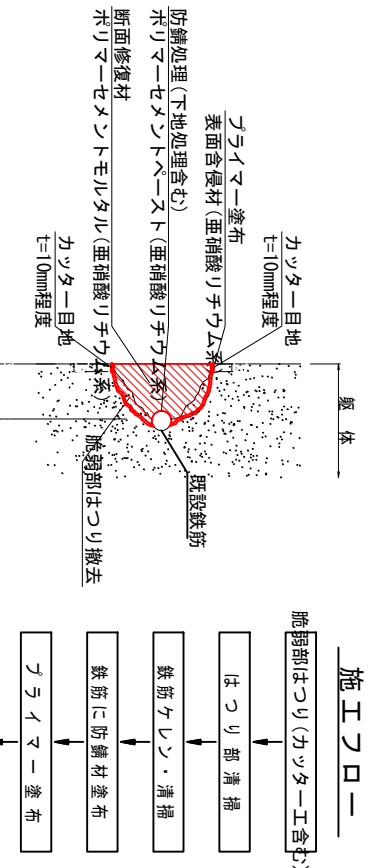
断面修復工 (1) 集計表

位置	防錆処理の有無	幅 (m)	長さ (m)	平均深さ (m)	個数	表面積 (㎡)	控除面積 (㎡)	修復材 (m³)	備 考
1	なし	0.27	0.20	0.03	1	0.054	-	0.0016	
2	なし	0.27	0.15	0.03	1	0.041	-	0.0012	
3	なし	0.17	0.12	0.03	1	0.020	-	0.0006	
4	なし	0.10	0.32	0.03	1	0.032	-	0.0010	
5	なし	0.15	0.20	0.03	1	0.030	-	0.0009	
合計	防錆処理有					0.000	-	0.0000	
	防錆処理無					0.177	-	0.0053	

※ 豆板やあばたなどの表面的な損傷については、施工の際に補修の要否を判断すること。

※ ここで、表面積＝幅×長さ、修復材＝（表面積－控除面積）×深さ×個数

断面修復工 (2)
(左 官 工 法)
NO SCALE



※ 劣化因子除去を目的とするため、かぶりコンクリート及び脆弱化したコンクリートは完全には取り取りを行うこと。

断面修復工 (2) 集計表

位置	防錆処理の有無	幅 (m)	長さ (m)	平均深さ (m)	個数	表面積 (㎡)	控除面積 (㎡)	修復材 (m³)	備 考
1	あり	1.20	0.41	0.10	1	0.492	-	0.0492	
2	あり	0.28	0.75	0.13	1	0.210	-	0.0273	
3	あり	1.20	0.64	0.10	1	0.768	-	0.0768	
4	あり	0.55	0.41	0.10	2	0.451	-	0.0451	
5	あり	0.58	0.64	0.10	2	0.742	-	0.0742	
6	あり	0.51	1.00	0.10	2	1.020	-	0.1020	
7	あり	1.20	0.42	0.10	1	0.504	-	0.0504	
8	あり	1.20	0.66	0.10	1	0.792	-	0.0792	
合計	防錆処理有					4.979	-	0.5042	亜硝酸リチウム系
	防錆処理無					0.000	-	0.0000	

※ ここで、表面積＝幅×長さ×個数、修復材＝（表面積－控除面積）×深さ

数 量 表

名 称	寸 法 ・ 規 格	単位	数 量	備 考
断面修復工 (1)				
左官工法	防錆処理無し	m³	0.0053	
断面修復工 (2)				
左官工法	防錆処理有り	m³	0.5042	亜硝酸リチウム系

注 記

1) 本図面は、既存資料および現地計測をもとに作成した図面である。

2) 施工する際は、再度現地検測を行って寸法等を確認すること。